



題字は斎藤邦吉先生書

発行所 昭和48年3月14日 厚生省環第171号認可 全国環境整備事業協同組合連合会 103-0027 東京都中央区日本橋2-9-1 竹一ビル4階 TEL (03) 3272-9939 FAX (03) 3272-9938

環境整備事業関係広報紙

【7月号】

本紙は一般廃棄物・浄化槽保守点検清掃・産業廃棄物等の取扱業者による全国団体の広報紙です。会員・関係企業・官公庁・地方公共団体に頒布しております。

全国環整連

第48回通常総会で令和2年度方針承認

新型コロナウイルスの影響で懇親会等中止に

全国環境整備事業協同組合連合会（玉川福和会長）は5月26日、岐阜市の岐環協事務所内で第48回通常総会を開催した。総会は例年、東京の如水会館で開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ観点から会場を変更、さらに懇親会、来賓の招待も中止、大幅に規模を縮小しての開催となった。議決は委任状、議決権行使書により行い、令和元年度活動報告、令和2年度活動方針など全5議案を承認した。

総会は午後3時、本人20名により始まった。出席5名、議決権行使書 議題は第1号議案「令和元年度活動報告、収支決算ならびに剰余金処分案承認」、第2号議案「令和2年度活動方針、活動計画ならびに収支予算の決定」、第3号議案「令和2年度借入金の高限度額の決定」、第4号議案「取引金融機関の決定」、第5号議案「その他」の全5議案。



総会を開催した岐環協事務所

令和元年度活動報告、収支決算ならびに剰余金処分案承認、第2号議案「令和2年度活動方針、活動計画ならびに収支予算の決定」、第3号議案「令和2年度借入金の高限度額の決定」、第4号議案「取引金融機関の決定」、第5号議案「その他」の全5議案。このうち第1号議案の活動報告は、全国環整連の各委員会等から説明があった。

合理化適正委員会は、令和元年度活動計画に区域割および合理化協定締結に向けた現地支援、不当な入札を阻止、10・8通知および最高裁判決の研修会実施を掲げており、「研修会を5回開催し、10・8通知について

勉強した。通知文の読み合わせだけでなく、行政交渉を想定したロールプレイングをすることで、文章のどの部分が重要かを深く理解することができた。また現地支援では、地元への聞き取りと委員会での資料準備をすることで、地元業者も交えた交渉を進めることができ、1回で完全決着しない案件のため、決着するまで支援を継続する」と報告した。

水処理委員会は、水再生優良事業者の取得推進、浄化槽現地実務研修会の実施、浄化槽法および関連通知の研修、タプレットの活用等革新技術を利用した維持管理の促進、下水道・農集施設管理に関するデータベース構築を掲げ、「今年度は平成18年以降の浄化槽法の改正がなされ、公共浄化槽制度の創設等浄化槽が下水道と並ぶ恒久施設として改めて認知された。また台帳を整備しなければならぬ」とされ

た台帳の記載項目には清掃の記録として清掃前の点検等が通知で明記された。これらのことを踏まえ、浄化槽法の一部改正の周知と水再生優良事業者制度の拡充に重点を置いた活動を行った」と総括した。

循環資源委員会は、不当な入札・新規許可の阻止、地域の処理計画の把握と合理的な原価計算の推進、モデル処理計画の提示、処理困難物、災害廃棄物取り扱いの確保、各県における研修会の開催を掲げ、「今年度は遺品整理、引越等に伴う一般廃棄物の取り扱いにおいて、全国的に不適切な事例と新規許可問題が発生しており、適正処理の観点から市町、組合員アンケート調査等を行い、その情報を元に環境省と協議し、不適正処理が横行しない取り組みを行った。また、北海道・東日本地区と中四国・九州地区の2ブロックで合理化適正委員会と合同研修会

を行い、北海道・東日本 適正化に向け、再度ごみ地区では主に受託料金の収集運搬の原価計算の根拠を説明し、中四国・九州地区では主に遺品整理、引越等に伴う一般廃棄物について、廃掃法・裁判例・環境省通知等に基づいて説明した。来年度も引き続き適正料金、適正処理が行えるように取り組み・支援を行ってまいりたい」とまとめ

第45回全国大会実行委員会では、昨年10月15・16日に開催した全国大会に係る活動報告を行い、財務委員会は令和元年度予算の執行状況を説明した。総会ではこれらの活動報告を含め、第1号から第5号まで全ての議案を第45回全国大会実行委員会では、昨年10月15・16日に開催した全国大会に係る活動報告を行い、財務委員会は令和元年度予算の執行状況を説明した。総会ではこれらの活動報告を含め、第1号から第5号まで全ての議案を

目次 1面... 岐阜で第48回通常総会開く 1面... 既存業者による処理体制構築要望 2面... 令和2年度活動計画等承認

を進行、北海道・東日本 適正化に向け、再度ごみ地区では主に受託料金の収集運搬の原価計算の根拠を説明し、中四国・九州地区では主に遺品整理、引越等に伴う一般廃棄物について、廃掃法・裁判例・環境省通知等に基づいて説明した。来年度も引き続き適正料金、適正処理が行えるように取り組み・支援を行ってまいりたい」とまとめ

第45回全国大会実行委員会では、昨年10月15・16日に開催した全国大会に係る活動報告を行い、財務委員会は令和元年度予算の執行状況を説明した。総会ではこれらの活動報告を含め、第1号から第5号まで全ての議案を

全国環整連

感染症など緊急時の許可不要特例で

既存業者による処理体制構築要望

廃棄物処理法施行規則の一部改正省令が5月1日に公布・施行された。大規模災害や、新型コロナウイルスのような感染症が大流行した場合に、廃棄物処理の許可を不要とする特例等を創設したもので、全国環整連では特例が乱用されることがないよう、市内に複数業者がいる場合は、他の既存の一般廃棄物処理業者による処理体制を構築するよう環境省に申し入れた。これを受理した環境省では、同日付で課長通知を發出し、この特例はあくまで緊急時の補完措置であり、指定に当たっては市町村内の既存業者で十分な処理ができない状況であることが必要と強調した。

改正施行規則の内容は、①緊急に行う廃棄物の処理を許可不要で行えるようにするための特例（一廃、産廃）②保管上限の特例（産廃）の2項目。

このうち許可不要の特例は、「特に必要がある場合において、環境大臣または市町村長（一般廃棄物）、もしくは都道府県知事（産廃）が適正に処理ができる者と指定した者は、指定された期間に限り、許可を受

けずに、指定された廃棄物の処理を行うことができる」と規定した。

通知では、この規定について「市町村内の一般廃棄物処理業者や産廃物処理事業者継続計画において想定した市町村外の一般廃棄物処理業者の確保ができず、処理が困難となった場合」「市町村の職員が多数感染、濃厚接触者となるなどしたために、市町村における行政機能が大幅に低下することにより、事務処理が滞り、一般廃棄物処理に係る許可を出せないといった場合」などに、「処理を補う能力のある者を環境大臣又は市町村長が指定することで、許可を受けないで一般廃棄物の処理を行うことを暫定的に可能とするもの」と説明。

その上で指定を行う主体、「特に必要があると認める場合」の意義、指定の対象とすべき者などの留意点を示した上で、指定する期間については「例外的な措置であるため、長期にわたる指定は原則として行うべきではない（延長は可能）。既存の一般廃棄物処理業者の能力回復、市町村の行政機能の回復など、指

定の必要がなくなった場合には速やかに指定を解除すべき」とした。

また廃棄物の種類は、「廃棄物の種類、収集運搬を行う区域および処分される事業場により特定する。あわせて廃棄物の処理方法の指定もでき、特に収集運搬に係る指定で、積み替えを行わせないようにする場合は、積み替えを行わずに処理する場合に限る」など、可能な処理の範囲を限定すべきなどと求めた。

また産廃に関しても、一廃と同様に長期にわたる指定は行わず、廃棄物の種類は限定すべき旨を示した。

保管上限の特例については、改正施行規則では「自ら廃棄物を処理する排出事業者及び都道府県知事が、優良として認定している廃棄物の処分業者が、処分又は再生のために行う保管のうち、新型インフルエンザ等に起因してやむを得ず行うものは、保管容量の上限を乗せず」とし、通知で対象となる廃棄物の種類を汚泥、安定型産業廃棄物、鉱さい、ばいじん、建設業に係る産業廃棄物（一部）などと絞った。

全国環整連

地域環境保全へ区域割や適正業務推進

各会の令和2年度活動方針および計画

全国環整連第48回通常総会では、一般廃棄物処理業務の確実な履行に向け、区域割の実施、浄化槽の適正な維持管理などを盛り込み令和2年度活動方針および計画を承認した。内容は次のとおり。

財務委員会

- 1. 活動方針
 - 一 適正な財務運用
 - 二 分かりやすい会計処理
- 2. 活動計画

合理化適正委員会

- 1. 活動方針
 - 一 適正な処理体制の確保 (合理化、区域割)
 - 二 不法・不当な新規許可の阻止
 - 三 各県の転換業務受託に向けた体制作り
 - 四 環境省との協議
- 2. 活動計画

循環資源委員会

- 1. 活動方針
 - 一 業務を適確に遂行するに足る委託料を実現する
 - 二 一般廃棄物の業務範囲を明確にした処理計画の推進
- 2. 活動計画

青年部

- 1. 活動方針
 - 一 全国環整連の一步先を走るリーダーとなり会員に貢献する
- 2. 活動計画

適正処理推進部会

- 1. 活動方針
 - 一 最高裁判決で一般廃棄物処理業務は、専ら自由競争に委ねられるべき性格の事業と位置付けられていないとされた。
- 2. 活動計画

水処理委員会

- 1. 活動方針
 - 一 恒久的な水処理施設としての浄化槽維持管理体制の発行
 - 二 技術力の向上・電子化等による良好な処理水質の確保 (浄化槽、下水道、農集排)
 - 三 環境省、国交省、農水省との協議
- 2. 活動計画

広報編集委員会

- 1. 活動方針
 - 一 組合活動を広報する
- 2. 活動計画

鳥取市、岩美町で三者間協定締結

災害廃棄物の撤去・収集運搬等を支援

全国環整連と鳥取県リサイクル協同組合は6月29日、鳥取県鳥取市および同県岩美町と災害協定をそれぞれ締結した。大規模災害が発生した際に、鳥取市または岩美町の要請を受け、鳥取県リサイクル協同組合が災害廃棄物の撤去・収集運搬・処理の協力を行い、全県環整連がそれに必要な人員や資機材の提供等の支援を行う。

鳥取市で行われた協定締結式では、深澤義彦市長、橋本浩之市民生活部長、鹿田哲生同部環境局長、全国環整連の玉川福和会長、西村博文常務理事、鳥取県リサイクル協同組合の越生昭徳代表理事が出席し、深澤市長、玉川会長、越生代表理事の3名が協定書に署名した。



鳥取市での協定締結式 (協定書を持つ左から玉川会長、深澤市長、越生代表理事)

鳥取市では「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結式が行われ、協定書が署名された。

鳥取市では「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結式が行われ、協定書が署名された。

鳥取市では「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結式が行われ、協定書が署名された。

鳥取市では「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結式が行われ、協定書が署名された。

鳥取市では「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結式が行われ、協定書が署名された。

鳥取市では「大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」締結式が行われ、協定書が署名された。



岩美町での協定締結式 (左から玉川会長、西垣町長、越生代表理事)

第46回全国大会の開催準備進む

全国環整連 奈良県で10月9・10日の2日間

全国環整連第46回全国大会 in NARAの準備が大会実行委員会(松本道夫委員長)により進められている。

今大会の目的は、いまだ平成26年10月8日に発出された廃棄物リサイクル対策部長通知(10・8通知)の主旨が理解された運用がなされていない実態を踏まえ、今一度、廃棄物処理法の目的および趣旨を十分理解し、許可業者の責任区域を限定することで許可業者の使命と責任を果たし、一般廃棄物処理計画の適正な策定および運用に寄与することとする。

日程および会場は、10月9・10日に「奈良県コンベンションセンター」(奈良市、今年4月開業)を予定し、プ



会場となる奈良県コンベンションセンター



会場へのアクセス図

ロケラムは初日に式典を開き、優良役員および従業員表彰、大会宣言の採択などを行う。その後、講演、パネルディスカッション、懇親会(別会場)を開く。また2日目は方針・本会議を開会する。

こだわりの製品を 追いつける会社



フレス式塵芥車
フレスマスター



電動回転式塵芥車
E-SEV



EP-2
(パキュムカー)



強力吸引車
パワフルマスター



浄化槽水リサイクル車
ウォーターマスター



高圧洗浄車
ハイプレクリーナー

株式会社モリタエコノス 本社工場 〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク28番地 Tel.079(568)2006

■全国販売網及びサービス網

仙台支店 Tel.(022)237-4171(代)	神奈川支店 Tel.(045)505-0031(代)	四国支店 Tel.(087)841-3330(代)	代理店
埼玉支店 Tel.(048)777-1891(代)	静岡営業所 Tel.(054)281-2388(代)	福岡支店 Tel.(092)591-1201(代)	北海道モリタ Tel.(011)721-4114(代)
千葉支店 Tel.(043)243-2737(代)	名古屋支店 Tel.(052)882-4571(代)	鹿児島営業所 Tel.(099)282-8352(代)	北海道特殊自販機 Tel.(011)784-4222(代)
東京支店 Tel.(03)5569-1740(代)	関西支店 Tel.(072)947-2121(代)		沖縄モリタ特殊サービス Tel.(098)77-6677(代)
西東京営業所 Tel.(042)568-2971(代)	京都営業所 Tel.(075)631-3391(代)		
新潟営業所 Tel.(025)265-0276(代)	広島支店 Tel.(082)893-2231(代)		



逆洗式浄化槽には、これ1台。 18通りの作動プログラムインストール済!

警報器が、
光とブザーで異常を知らせます。



自動逆洗式ブロウ
LAG-80E



簡単プログラム設定



警報器付ブロウ
LAA-80

逆洗・ばっ気の切り替えが可能
右ばっ気、左ばっ気が1台で対応可能。

手動逆洗6・12・168(7日間)時間
長時間設定可能。(通常10分)

長寿命 突然停止しない らくらくメンテナンス

リニア駆動フリーピストン方式

メドーブロー

☆お問い合わせは、お取り扱い販売店様へおたすねください。

修理研修受付中/デモ機依頼お気軽に!

www.nitto-kohki.co.jp

技術で、人を想う。

メド-事業部 リニア販売部
〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258



ついに完成 魔法の潤滑油

衛生車の臭気問題を解決

衛生車の臭気0化
作業環境の劇的な改善

デオマジック VC1 オイル

衛生車の消臭対策に抜群の効果を発揮する真空ポンプ用潤滑油です。今お使いの潤滑油と交換するだけで、脱臭ツールを使わなくても、永年の悩みであった不快臭が芳香に変わります。作業ストレス軽減や雇用の確保、また、作業中を気付かせない周辺配慮にも効果抜群です。



DEOMAGIC™ VC1 Oil
デオマジック VC1 オイル




脱臭剤不要

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 部品営業課
〒236-0043 神奈川県横浜市金沢区大川3番1号
TEL:045-784-1195 FAX:045-784-1196
Email:deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp



本社/東京事務所 TEL:045-575-9901

北海道支店 TEL:011-633-7101

東北支店 TEL:022-782-5040

仙台部品営業所 TEL:022-782-5065

北関東支店 TEL:0276-89-1551

信越営業所(新潟) TEL:025-283-6571

関東支店 TEL:03-3843-3351

茨城営業所 TEL:0298-22-5569

神奈川営業所 TEL:045-580-1511

中部支店 TEL:052-218-5123

中部支店 金沢出張所 TEL:076-223-1191

近畿支店 TEL:0798-52-2100

東邦車輛サービス(株) TEL:072-433-2401

中国営業所(広島) TEL:082-890-2882

四国営業所 TEL:089-965-4580

九州支店 TEL:092-441-1951

南九州営業所 TEL:099-252-2070

福岡部品営業所 TEL:092-441-0634

金沢から
全国、海外に...

誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

- エアポンプブローア
- 水中ポンプ・陸上ポンプ
- 給水ポンプ・薬注ポンプ
- 水質検査器・理化学機器
- ガス検知器・送排風機
- 配水管清掃機器・薬剤
- 各種産業用ベルト・ホース
- 浄化槽用消毒薬・維持管理剤
- 電動工具・制御機器・記録紙
- 浄化槽関連部品・FRP補修剤
- マンホール・その他

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。

株式会社 日環商事
Nikkan

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地
TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348
FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718
E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp
http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101
TEL:087-813-7621 FAX:087-813-7011
九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目5番21号-7
TEL:092-558-4828 FAX:092-558-4827

測定値のバラツキが少ない、電子式透視度センサー		比色試験器	ピストン式採水器												
<p>プローブ型透視度センサー：TP-10Z</p> 	<p>一体型透視度センサー：TP-30</p> 	<p>アクアテスター、DPD試薬</p> <p>1Z / 2Z シリーズ (9段階測定) 7Z シリーズ (10段階測定)</p> 	<p>ミズテッポ1号/2号</p>  <p>1回で500ml採水OK!</p> <p>深い所 狭い所 浅い場所の採水OK!</p> <p>テーパ付採水ノズル</p>												
<p>従来 透視度測定は従来JIS法に基づく 目視測定式透視度計が用いられています。</p> <p>問題・対策 目視式は測定環境の影響が大きい。 電子式透視度センサーは安定した測定を実現。</p>		<p>DPD残留塩素測定試薬</p> <p>比色法、ニーズに対応、粉末分包試薬、液体試薬をラインナップ</p> <p>粉末分包試薬</p>  <p>DPD-GL-10 DPD-GL-10 DPD液体試薬 DPD-WA-50 DPD-WA-50 遊離残留塩素試薬 DPD-F-1 DPD-F-1 遊離残留塩素試薬 DPD-TL-1 DPD-TL-1 全残留塩素試薬</p>													
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プローブ型</td> <td>一体型</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>TP-10Z</td> <td>TP-30</td> </tr> <tr> <td>測定方法</td> <td>採水/投込</td> <td>採水</td> </tr> <tr> <td>測定範囲</td> <td>2~200cm 0~2Abs</td> <td>2~200cm</td> </tr> </table>		プローブ型	一体型	型式	TP-10Z	TP-30	測定方法	採水/投込	採水	測定範囲	2~200cm 0~2Abs	2~200cm		
	プローブ型	一体型													
型式	TP-10Z	TP-30													
測定方法	採水/投込	採水													
測定範囲	2~200cm 0~2Abs	2~200cm													

KRK 笠原理化工業株式会社

本社・工場移転のお知らせ
このたび、弊社は本社・工場を移転致しました。
電話番号・FAX番号も変更となりました。

本社：〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番8
TEL 0480-38-9151(代) FAX 0480-38-9157
URL http://www.krkjpn.co.jp

MLSS / 界面計	MLSS計	溶存酸素計 DO計	pH / ORP計	pH計	塩素イオン計																								
<p>SS-10Z</p> <p>¥250,000</p>  <p>沈殿槽の汚泥界面/MLSS測定</p>	<p>SS-10F</p> <p>¥220,000</p>  <p>活性汚泥濃度測定</p>	<p>DO-10Z</p> <p>¥125,000</p> <p>NEW DOセンサー OXNIT : OX-V2</p> 	<p>KP-10Z</p> <p>¥95,000</p> <p>pH / ORP / 水温計</p> 	<p>KP-10F</p> <p>¥90,000</p> <p>pH / 水温計</p>  <p>計量法 型式承認 計器本体 第SS142号 電極 第S142号</p>	<p>CL-10Z</p> <p>¥170,000</p> <p>測定レンジ自動切替機能付</p> 																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>SS-10Z</td> <td>SS-10F</td> </tr> <tr> <td>測定範囲</td> <td>MLSS : 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深 0.00~5.00m</td> <td>無し</td> </tr> </table>		SS-10Z	SS-10F	測定範囲	MLSS : 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深 0.00~5.00m	無し		<table border="1"> <tr> <td>測定範囲</td> <td>DO : 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0°C</td> </tr> </table>	測定範囲	DO : 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0°C	<table border="1"> <tr> <td>型式</td> <td>KP-10Z</td> <td>KP-10F</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定範囲</td> <td colspan="2">0.00~14.00pH</td> </tr> <tr> <td>0~±1900mVpH電極起電力</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>0~±1900mV(ORP)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">0.0~50.0°C</td> </tr> </table>	型式	KP-10Z	KP-10F	測定範囲	0.00~14.00pH		0~±1900mVpH電極起電力	無し	0~±1900mV(ORP)	無し		0.0~50.0°C		<table border="1"> <tr> <td>測定方式</td> <td>固体膜塩素イオン電極法</td> </tr> <tr> <td>測定範囲</td> <td>0.1 ~ 2000mg/L</td> </tr> </table> <p>鉛フリー対応でIP67相当の防水構造</p>	測定方式	固体膜塩素イオン電極法	測定範囲	0.1 ~ 2000mg/L
	SS-10Z	SS-10F																											
測定範囲	MLSS : 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深 0.00~5.00m	無し																											
測定範囲	DO : 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0°C																												
型式	KP-10Z	KP-10F																											
測定範囲	0.00~14.00pH																												
	0~±1900mVpH電極起電力	無し																											
	0~±1900mV(ORP)	無し																											
	0.0~50.0°C																												
測定方式	固体膜塩素イオン電極法																												
測定範囲	0.1 ~ 2000mg/L																												

KRK 笠原理化工業株式会社

本社・工場移転のお知らせ
このたび、弊社は本社・工場を移転致しました。
電話番号・FAX番号も変更となりました。

本社：〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番8
TEL 0480-38-9151(代) FAX 0480-38-9157
URL http://www.krkjpn.co.jp